

1.アンケート回答者の所属

居宅介護支援事業所5、訪問看護St7、薬局5、地域包括支援センター1、未記載1、製薬企業1、医療品卸1、NPO法人1、歯科1

2.感想

(企画)勉強になった23 難しくてわからなかった0 簡単すぎた0

(内容)わかりやすかった。15 わかりにくかった0 どちらともいえない1

(点数) 10点:14 9点:1 8点:4 7点:1

3.どのようなことを学んだか？

・ 今の主語は誰かを考えること。×3

本人が手助けを求めるタイミングを待ち、介入するなど、とても勉強になりました。

・ (患者様中心の医療)の見方は難しいということ。×2

・ 患者中心の医療の方法について実際の事例で学べた。×6

理論と事例を結びつくと、仕事に生かしやすかったと思った。

・ 関わる人を増やして厚いチームにしておくこと。×4

- ・ 困難事例の相談方法を知ることが出来た。
- ・ 多職種の方々の意見が聞けたこと
- ・ 実際の事例を聞いて参考になりました。患者の考え、医療の立場からの考えの差は今まで考えていなかったので参考になりました。
- ・ 本人、家族の思いを理解し必要な時に手を差し伸べられるように体制を整える事が大切
- ・ ターミナルの方の最後の迎え方は「本人のしたいように」が1番大事である。
その中で限界になったときにすぐに助けられる体制をとっておく。
- ・ 患者本人の意思に沿った医療、介護が大切であるということ。
- ・ 医療者・介護者ももっと褒められてよいと思います。
- ・ 本人が何を望んでいるのかを考えることが大事。
人との関わり。助けが必要なタイミングで助けてあげられる関係づくりが大切。
- ・ 本人の意思、価値観をかなえる医療の大切さ
- ・ 覚悟・辛さについて。
- ・ サービス介入が困難な方に対してのアプローチ方法や社会資源についてのご情報を知ることが出来ました。

4.もっと聞いてみたいこと

- ・ 皆さんの意見がとても勉強になったので満足しています。
- ・ この案件で(しあわせ)はどこにあったのか？
- ・ 例えば薬剤師だったらこういうことができる。地域包括はこういう支援をしてくれる等積極的な意見がもっとたくさん出てくるといいと思います。
- ・ 多職種はどんなものがあるのか。民生委員、地域包括etc
- ・ 患者中心の医療の方法についてをもう少し聞きたかった。×2

5.その他ご質問

- ・ 転入者(地元ではない人)への関わり方。いい介護や地域包括センターの知識など

6.(参考)参加事業所

ソフィア訪問看護ステーション元住吉、セントケア中原、医だ居宅介護支援センター、旭化成ファーマ、たちばなケアプランセンター、幸訪問看護ステーション、むさし歯科医院、ふれーず訪問看護ST、アルフレッサ、ひまわり訪問看護ステーション、ポラリス訪問看護ステーション、ゆめみがさき居宅介護支援センター、高田ファミリー薬局、ライフサポート訪問看護リハビリステーション菊名、その他